

東大野球部

New! メールマガジン Vol.41

ごあいさつ

暦の上では立春となりましたが、まだまだ寒い日が続いております。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

野球部では、大体の部員がテストもひと段落し、春休みとなり、練習に一層取り組める時間が増えました。リーグ戦に向けて、気を引き締めて練習を行っていかうと思います。皆様今後とも変わらぬご声援を宜しくお願い致します。

受験生へのメッセージ

2月になり、東大の入学試験も迫ってきました。そこで、今回は、東大の野球部を目指して、受験勉強を頑張っている学生の方々に、現役部員達から、体験記とメッセージをお送りしたいと思います!



嘉藤選手 (新3年・投手・文学部・土佐高校)

自分の場合は東大で野球をしたいという明確な目標があったので、最後までモチベーションを落とさずに勉強することができました。勉強方法としては浪人時代には、基礎を固めたら、あとは徹底的に演習をやって経験を積む、ということに意識を集中しました。基礎さえできていれば、応用のパターンは大学入試ではたかが知れているので、必ずできるようになります。また量をこなすことで自信もつき、わからない問題に対しても、おそらくこうだ、という予測が立つようになります。最後になりますが、受験は団体戦だと思います。志を同じくする仲間と勉強し、時に教えあい、時に励ましあう事ができれば、辛い受験勉強もモチベーションを落とさずにできると思います。最後まで諦めることなく、必死にがんばってください!



藤倉選手 (新3年・外野手・教育学部・海城高校)

こんにちは。新3年外野手の藤倉です。僕は高3の夏の大会が終わったあとから本格的に受験勉強を開始しました。それまでは基本的に学校での勉強だけで、授業中は頑張っていた。毎日の勉強時間は授業を除いて、1時間から多くても1時間半くらいだったと思います。夏大後は1日10時間くらい勉強しました。受験勉強を続ける中で勉強に嫌気がさすときもあるかもしれませんが、そういうときは軽い運動をしたり、それこそ少しキャッチボールをしたりして気分転換もしながらメリハリをつけながら頑張ってください。野球をやっている間はしっかり野球に時間を割いていいと思います。勉強は部活が終わってからでもなんとかなります。野球に対する気持ち、大学でも野球をしたい、神宮でプレーしたいというモチベーションを勉強につなげられればきっといい結果が出るはずです。みなさん頑張ってください。



中杉選手

(新2年・内野手・理科I類・筑波大附駒場高校)

東大の二次試験は2日間に渡るため、気持ちの持ち方が重要になってきます。僕は理系なのですが、1日目の数学で一問も完答ができませんでした。その時は、もうダメかと思いましたが、2日目の試験では気持ちを切り替え、挽回してやるつもりで試験に臨みました。結果、数学は32点だったのですが、なんとか合格することが出来ました。僕のような例は、決して稀ではありません。試験が全て思い通りにいくことはほとんどありません。それでも自分のやってきたことを信じて、最後の科目まで頑張りましょう。それでは、残り少ない期間ですが、体調などに気を付けて頑張ってください！



毛利選手

(新2年・投手・理科I類・横浜翠嵐高校)

僕は、現役の時理科I類に落ちましたが、1年浪人して合格しました。現役の時は、1日目はまずまずの出来でしたが、2日目の理科で最初に手をつけた物理で失敗して焦ってしまい、化学にも影響してしまいました。逆に浪人時代は、数学が少し上手になりました。逆でしたが、現役時の失敗を活かして理科と英語は落着いて解くことができ、高得点に繋がりました。受験生の皆さんも、ミスを引きずらないように頑張ってください。特に、浪人生の人たちは、プレッシャーが大きく大変だと思いますが、今までの自分の勉強に自信を持って臨めば、実力を発揮できると思います。



編集後記

現役選手達からの、体験記やメッセージは役立ちたでしょうか。ここまでたくさんの方の苦勞があったと思いますが、頑張った分だけ結果は必ずついてきます。あと少し、最後まで諦めずに全力を尽くして頑張ってください。

今年も、メルマガを通して皆様に、東大野球部のことをたくさん知ってもらえるように、多くの特集をやって参りますので、楽しみにしていってください！今後とも東大野球部を宜しくお願い致します。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5800

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

